

平成30年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

| | |
|-------|---|
| 研究課題名 | ホウ素 π 電子系の化学：平面固定化により拓く新機能 |
| 研究代表者 | 山口 茂弘 (名古屋大学・トランスフォーマティブ生命分子研究所・教授) ※平成30年7月末現在 |
| 研究期間 | 平成30年度～平成34年度 |
| コメント | <p>本研究は、平面ホウ素 π 電子系の近赤外蛍光特性やラジカル安定性を利用し、基礎科学としての有機合成化学、構造有機化学のみならず機能性材料への展開を目指すものである。研究内容も極めて独自性が高く、本研究によって典型元素化学領域に新たな概念が生まれる可能性がある。</p> <p>応募者は、これまでの研究活動において、シロール、ホスホール類など典型元素を含む π 電子系化合物に関する基礎的な研究で独創的な研究成果を上げるとともに、実用化にも成功するなど、世界でも有数の研究業績を上げており、本研究を遂行し、十分な研究成果を上げることが期待できる。</p> |